

うどんまつりでイチゴドリンクとTシャツ販売に挑戦! 「しもかわプロデュース部」

好きなことや得意なことを生かして町の魅力を発信する「しもかわプロデュース部」の取り組みに、中学生3人が参加しました。インターン生とともに、町の魅力を生かした商品づくりに挑戦。戸田建設のいちご農場を見学し、「ばくりっこ」でTシャツを仕入れるなど、材料の調達からアイデア出し、デザイン、試作までを重ね、「しもりん古着Tシャツ」と「なついちごドリンク」が完成しました。

9月12日のうどんまつりでは、来場者に商品の特徴を伝えながら接客し、多くの人に手に取ってもらいました。参加した生徒にとって、地域の魅力を発信し、一から商品をつくる楽しさを学ぶ貴重な機会となりました。



大学生と考える「進路選択」センパイ進路トーク

中学2・3年生を対象に、センパイ進路トークを開催し、インターン生や実習生など大学生13人がゲストとして参加しました。生徒たちは、大学生が進路を選ぶ際に抱いた迷いや、興味のあることに挑戦した経験などに耳を傾けました。

2年生にとっては、10月の職場体験に向けた授業でもあり、体験先の事業所や身に付けた力についてグループで話し合いました。自分が大切にしたい思いや、目標に近づくために必要な行動を整理し、高校進学やその先の将来を自分ごととして捉える機会となりました。



■お問い合わせ 教育委員会 ☎4-2511内線814

共育にゆーす



下川の教育・まちづくりを体験! 夏期インターン・実習報告

下川町教育委員会の夏期インターンシップに6名が参加し、最長20日間にわたり小中高校の授業、こどもの居場所づくり、中学生と挑む「しもかわプロデュース部」の現場に飛び込みました。同時期には下川中学校の草の根実習やへき地校実習で5名、しもかわ観光協会のインターン2名が滞在。教育、まちづくり、観光の最前線で地域と深く関わりながら、子どもたちの成長を支え、下川の魅力を体感した大学生たちの学びの様子を紹介します。

参加者

半谷	光悠佳	名寄市立大学	1年
三國	詩奈	北海道教育大学旭川校	1年
瀬戸	雅紀	横浜国立大学	2年
今井	優月	名寄市立大学	2年
泉田	優奈	札幌大学	3年
川島	レラ	社会人	



みんなの居場所「ビバ!やまとや」オープニングイベント

9月5日、旧そば処やまと屋で、子どもと大人が安心して過ごせる居場所「ビバ!やまとや」のオープニングイベントが行われました。立ち上げにはインターン生も関わり、イベント内容の企画や広報などを担いました。当日は、看板作りや大きなシャボン玉などの外遊びのほか、工作、お絵描き、ボードゲーム、いちごドリンク作りを実施。無料ドリンクの引換券を利用した子どもは43人にのぼり、大人を含め約70人が参加しました。会場には、遊びや会話を楽しむ参加者の笑顔が広がり、新たな地域の居場所のスタートを祝いました。

